

教師用指導書「ワークシート集」について…………… 2

1 くらべて よもう…………… 4

くらしを まもる 車…………… 4
 のりものしらべを しよう…………… 8
 ずかんを つかって しらべよう…………… 9
 ことばの きまり① 文の かたち…………… 10
 ことばの いずみ① かたかな…………… 12

2 みんなで はなしあおう…………… 15

クイズ大会を しよう…………… 15

3 ようすを おもいうかべて よもう…………… 18

はじめは「や!」…………… 18
 ことばの いずみ② 日づけと よう日…………… 25
 見て、聞いて、さわって…………… 26

4 じゅんじよを たしかめながら よもう…………… 27

まめ…………… 27
 よみやすく する ために…………… 30
 につきを かこう…………… 31
 ふゆ休みに したよ…………… 32

5 つながり を かんがえて よもう…………… 34

めだかの ぼうけん…………… 34

「音」を さがして おはなしづくり…………… 38

ことばの いずみ③ まとめて よぶ ことば…………… 40
 ありがとうを とどけよう…………… 41

ことばの いずみ④ ひつじゅんと にて いる…………… 42

6 じゅんじよよく かこう…………… 43

おてつだいを したよ…………… 43

7 ばめんの ようすを おもいうかべて よもう…………… 45

ろくべえ まってろよ…………… 45

かたかなの れんしゅう①②…………… 52

この 本で 学しゅうした かん字①⑦…………… 54

一年生で 学しゅうした かん字①③…………… 68

教師用指導書「ワークシート集」について

本書は、令和二年度版「みんなと学ぶ小学校国語」の各教材の学習過程に合わせて利用できるように編集したワークシート集です。

教師用指導書解説編及び朱書編との関連を考慮し、各教材の授業展開に応じた実践的なワークシートを用意しています。また、教材に即したもののほかに、漢字や文字学習など、日常的な学習に対応した資料も収めています。それぞれのワークシートをあらかじめ確認していただき、授業の有効な場面で活用してください。

本書に収められた資料を十分に活用することで、児童の学習意欲や学びの定着が高まることを願っています。

□ 本書の使い方

本書は、図書としての扱いやすさを考慮して、教科書と同じB5判で作成しています。ご使用の際には、適宜B4判程度に拡大コピーしてください。

また、本書掲載のワークシートのデータを、弊社ホームページ内「小学校国語」よりダウンロードすることができます。適宜、資料をダウンロードして、必要部数をプリントアウトしてご使用ください。

□ 本書の構成

● 授業展開に合わせたワークシート

教科書の学習過程に合わせて利用できるように編集したワークシートです。

児童が主体的に学習課題に取り組めるよう、考えたことを書き込んだり、友達の発言を記録したりすることができます。単なる学習作業を行うのではなく、内容理解や自身の学習評価、次の学習への意欲付けができるよう配慮した内容になっています。

なお、学級の実態やノート指導の観点などから、本書に収められたワークシートが授業に適さない場合が生じることもあります。そういったときには、本資料を参考にして、自作するなどしてください。

● 「言葉をつないで文を作ろう」

学習指導要領では、漢字の読み書きについて、次のように記されています。

漢字の読み書きについては、書きの方が習得に時間がかかるという実態を考慮し、書きの指導は2学年間という時間をかけて、確実に書き、使えるようにすることとしている。

よって、学習指導要領の「知識及び技能」(1)エの「当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う」ことを受け、教科書で設定された「言葉をつないで文を作ろう」のページをもとに作成したものです。

掲載している挿絵や漢字・熟語などを使って、普段の生活や想像したことなどを織り交ぜながら、楽しく表現することをねらっています。漢字の定着のみならず、文章の創作意欲をかき立てるのに適した資料です。

●「この本で学習した漢字」

学習指導要領の「知識及び技能」(1)エの「当該学年までに配当されている漢字を読むこと」や「当該学年までの配当されている漢字を漸次書くこと」を受けたものです。

教科書本文では、新出漢字を脚注欄や「漢字の広場」の漢字特設ページにて提示しています。また、各巻の巻末資料編「漢字のまとめ」この本で学習した漢字」にて教材ごとに示しています。これらのページをもとにして作成した資料です。

構成としては、まず、漢字に振り仮名を付けて読み、その後に漢字を書くようになっていきます。くり返し練習することにより、児童の漢字の定着が一段と進むように工夫しています。

●「〇年生で学習した漢字」

前学年で学習した漢字すべてを、学習指導要領の「学年別漢字配当表」の順に掲載しています。(一年生は当該学年の漢字を掲載)

すべての漢字を三段階で書きながら、習熟を図っています。まずは始筆や筆順に注意しながら「なぞり書き」を行い、その後、十字罫のあるマス目に沿って字形を意識しながら書きます。そして、最後は、上段のお手本を見ながら丁寧に書くといったステップで漢字の練習をすることができます。なお、本資料は、書写の硬筆指導にも活用することができます。

●「ひらがなのれんしゅう」「かたかなのれんしゅう」

一年生のみ設定している資料です。五十音順に並んだ平仮名を書く練習をします。筆順、字形を意識しながら、くり返し練習ができるようになっていきます。また、始筆から「とめ」「おれ」「はね」「まがり」「はらい」「むすび」などの点画の書き方に注意して書くことで、読みやすく丁寧に字を書くこととする態度を養うことができます。

本書に収録した情報の著作権は学校図書に帰属しています。また、収録された作品や文章の著作権は、それぞれの作者・筆者に帰属しています。学校図書発行教科書の指導に使用する目的以外での使用はできません。

1

くらべて よもう

なまえ

くらしを まもる 車①

① どんな 車 を しって いますか。しって いる 車 の こと を かきま
しょう。

② 「くらしを まもる 車」を よんで、かんそうを かきましよう。

③ くらしを まもる 車は、いくつ ありましたか。その 車は なんです
か。

(いくつ)

(くらしを まもる 車)

④ といの ぶんを 二つ みつけて かきましよう。

①

②

くらしを まもる 車②

□ ① といの ぶんの こたえを ぶんしょうから さがし、ひょうに まとめ
 ましょう。

といの ぶん

- ① それぞれの 車は、どんな はたらきを して いるのでしょうか。
- ② その ために、どんな つくりになっ て いるのでしょうか。

くらしを まもる 車

はたらき

つくり

1

くらべて よもう

くらしを まもる 車③

なまえ

1

それぞれの 車の、ちがう ところと おなじ ところを みつけて か
きましよう。

くらしを まもる 車	ちがう ところ	おなじ ところ
と		
と		
と		

2

それぞれの 車を せつめいする ために、おなじ ことが つかわれ
ています。その ことばを みつけましよう。

おなじ ことば	
ごみしゅうしゅう車だけ つかわれて いない ことば	

1

くらべて よもう

なまえ

くらしを まもる 車④

Ⅰ くらしを まもる 車が なかったら、みなさんの せいかつは、どうなるでしょう。

くらしを まもる 車	もし なかったら どうなるか			

Ⅱ くらしを まもる とは、どういう ことでしょう。かんがえて かきましよう。

しらべて かこう

なまえ

のりものしらべを しよう

① しらべた のりもののはたらきと つくりを ひょうに まとめましよう。

のりもの なまえ	はたらき	つくり

はたらきに あった つくりが かけて いるか たしかめましょう。

② ひょうを もとに、 しょうかいする ための 文しょうを かんがえましょう。

はたらき	のりもの なまえ	（ …… のりもの なまえ じぶんの なまえ…… ）
（ は、		
つくり	そのために、	

しらべよう　まとめよう

なまえ

ずかんと　つかって　しらべよう

Ⅰ　ずかんの　もくじを　みて、　まとめましょう。

しらべる　も の　なまえ	なかま	ページ
()		
()		
()		
()		

Ⅱ　さくいんを　みて、　まとめましょう。

しらべる　も の　なまえ	さいしょの もじ	ページ
()		
()		
()		
()		

文の かたち ①

□ ひだりの えを 見て、文を つくりましょう。



①

なに
が

どうする

②

なに
は

どんなだ

が

が

が

が

は

は

は

は

文の かたち ②

①

や

の

中に ことばを いれて、
文をつくりましょう。

②

下の えを 見て、 文を
つくりましょう。

①

が

はしる。

②

が

③

が

④

山は

。

⑤

は

⑥

は

。

。

。

。

①

ももが

②

が

③

は

よわい

④

は

。



かたかな ①

① つぎの うたの 中から かたかなを 見つけて、せんを ひきましよう。

うたおう うたおう

ロンドンばしの うたを

みんなで おどろう

タッタ タン タン

タンバリン ならそう

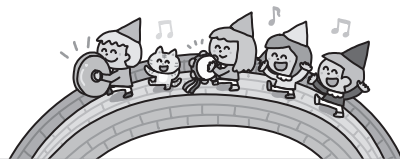
パン パン パーン

ねこも うかれて

ニャン ニャン ニャーオ

さいごに シンバル

ジャン ジャン ジャーン



② 見つけた かたかなを こえに 出して よみましょう。

③ どんな ことばを かたかなで かくのか かんがえましょう。

① ・タンバリン ・シンバル ↓

② ・ロンドン ↓

③ ・タッタ タン タン

・パン パン パーン

・ジャン ジャン ジャーン



④ ・ニャン ニャン ニャーオ ↓

かたかな ②

① つぎの かたかなの ちがう ところは どこでしょう。 また、おなじ ところは どこでしょう。

ツ ソ
シ ン

〈ちがう ところ〉
〈おなじ ところ〉

マ ア

〈ちがう ところ〉
〈おなじ ところ〉

ヌ ス

〈ちがう ところ〉
〈おなじ ところ〉

ラ テ

〈ちがう ところ〉
〈おなじ ところ〉

② かくばしよに きをつけて なぞりましょう。

● ッや。の
つくじ

ツ

● つまる 音 おん

ー

● のばす しるし

ヤ

ヤ・ユ・ヨ

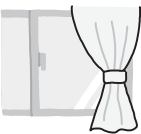
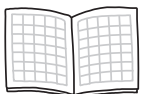
③ にて いる じゃ、かくばしよに きを つけて かきましょう。

サッカー ボール キャップ
ソース カヌー ワークシート

かたかな ③

□ かたかなで かく ことばを かきましよう。

① きょうしつ の 中 に ある もの

② がっこうで きこえる 音

③ たべもの

④ のりもの

クイズ大会を たいかい しよう①

① はなしあいの れいを よんで、たいせつだと おもう ことを かきま
しょう。

はなしあいの こつ	
れい…○かんがえや わけを いう	
○	
○	
○	

② つぎの はなしあいで、つかって みたい こつ その りゆうを か
きましよう。

つかって <u>みたい</u> <u>こつ</u>	
	<u>りゆう</u>

たいかい

1

《出す クイズの こたえ》

かんがえた
ヒント

じゅんぱん

			かんがえた ヒント
			じゅんばん

2

[illegible]

クイズ大会^{たいかい}を **しよう** ③

① クイズ大会は たのしかったですか。かんそうを かきましよう。

うまく できたか (◎ ○ △)	かんそう

② はなしあいをする ときに、きをつけると よい ことは なんでしたか。

--

3

ようすを おもいかべて よもう

なまえ

はじめは「や！」①

□ くまさんや きつねさんの した ことや いった ことから、 気もちを
そうぞうしましょう。

くまさん

きつねさん

すると、

きつねさん を 見ました。

くまさん を 見ました。

ふたり

(29ページの え)

でも、

ともだちじゃ ないから、

「……。」

だまって とおりすぎました。

はじめは「や！」 ②

□ くまさんや きつねさんの した ことや いった ことから、 気もちを
 そうぞうしましょう。

くまさん

すると、

くまさん

きつねさん

ふたり

でも、

ともだちじゃ ないから、

「……。」

だまって とおりすぎました。

(31ページのえ)

3

ようすを おもいかべて よもう

なまえ

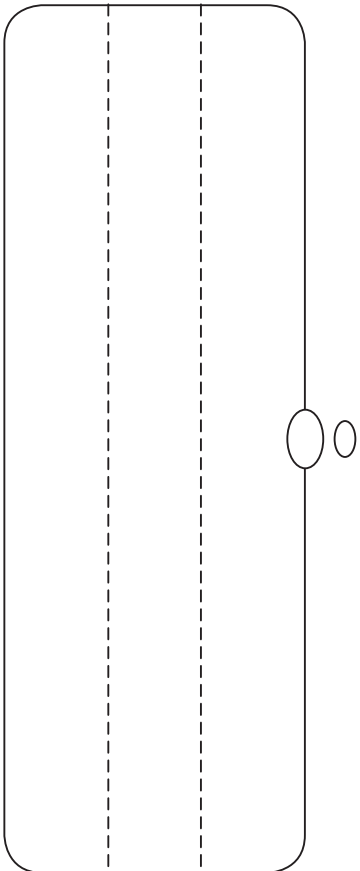
はじめは「や！」 ③

□ くまさんや きつねさんの した ことや いった ことから、 気もちを
そうぞうしましょう。

くまさん

きつねさん

ソ・ソ・ソ・ソ・ソ・ソ・ソ



くまさんと きつねさん

ふたり

でも、

ともだちじゃ ないから、
気が つきません。

「……。」

だまって とおりすぎました。

(32・33ページの え)



はじめは「や！」 ④

□ くまさんや きつねさんの した ことや いった ことを 見つけましょう。

くまさん

きつねさん

くまさんは

きつねさんは

(35ページのえ)

3

ようすを おもいかべて よもう

なまえ

はじめは「や！」 ⑤

□ くまさんや きつねさんの した ことや いった ことを 見つけま
しょう。

くまさん

きつねさん

くまさんは

きつねさんは

(36ページのえ)

はじめは「や！」 ⑥

□ くまさんや きつねさんの した ことや いった ことを 見つけま
しょう。

くまさん

きつねさん

くまさんは

きつねさんは

(37ページのえ)

3

ようすを おもいうかべて よもう

なまえ

はじめは「や！」 **7**

□

した ことから かんがえましょう。

① ふたりは どう かわりましたか。

② ふたりが かわったのは、いつからですか。

③ ふたりが いちばんの ともだちに なったのは なぜですか。

日づけと よう日

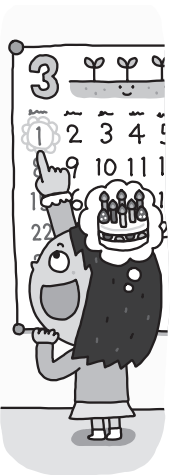
① 「一日」の よみかたを かきま
しょう。

③ つぎの 日づけの よみかたを
かきましよう。

① きょうは、一日 雨です。



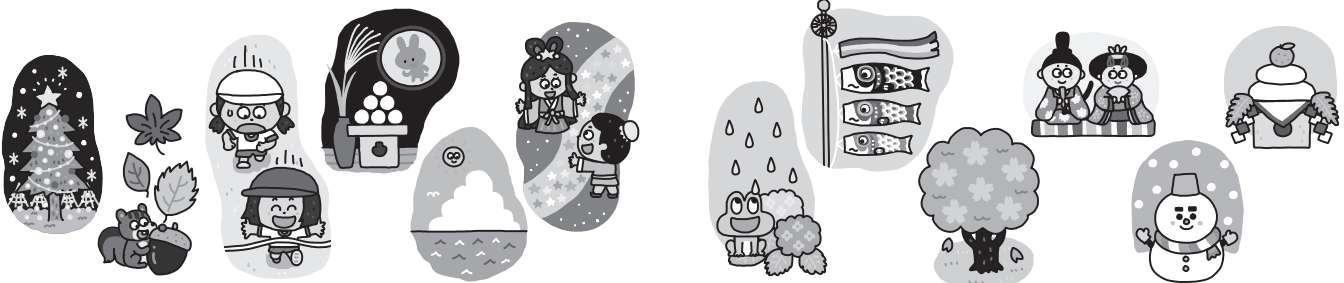
② 三月一日が、たんじょう日で
す。



② よう日の よみかたを かきま
しょう。

- ① 日よう日 ()
- ② 月よう日 ()
- ③ 火よう日 ()
- ④ 水よう日 ()
- ⑤ 木よう日 ()
- ⑥ 金よう日 ()
- ⑦ 土よう日 ()

- 一月一日 ()
- 二月二日 ()
- 三月三日 ()
- 四月四日 ()
- 五月五日 ()
- 六月六日 ()
- 七月七日 ()
- 八月八日 ()
- 九月九日 ()
- 十月十日 ()
- 十一月十一日 ()
- 十二月二十日 ()



「ゆたかに ひょうげんしよう

なまえ

見て、きいて、さわって

□ みの まわりの ものを かんさつして、かんじた ことを 下の ひょうに まとめましょう。まとめたら、それを もとに、上に しを かいて みましょう。

だい名

（

）



目で かんじた こと	はなで かんじた こと	みみで かんじた こと	手で かんじた こと	おもった こと

まめ ①

①

「まめ」を よんだ かんそうを かきましよう。

はじめて した こと

おどろいた ことや おもしろかった こと

ふしぎに おもった こと

②

まめが そだつ じゅんを かんがえながら、 しゃしんに ばんごうを
つけましよう。

ア () イ () ウ ()

③

ばんごうの じゅんを つけた
わけを せつめいしましよう。



エ () オ () カ ()



キ ()



なまえ

とめましょう。

	(	(	(	(	じゅんじょがわかることは
(	(	(	(	(	そだつようす
が できる	が さく	が ふえる	が のびる		

2

[illegible]

まめ ③

① まめの へそと、わたしたちの へそを くらべましょう。にていることや ちがう ことを かんがえて かきましよう。

にている こと

ちがう こと

② ともだちの かんがえを きいて かきましよう。

にている こと

ちがう こと

③ はじめに かいて ある「まめは たねです。生きて います。」について、どう おもいましたか。かんがえて かきましよう。

④ ともだちの かんがえを きいて かきましよう。

よみやすく する ために

① こえに 出して よんで

みましよう。どちらが よみ
やすいですか。よみやすい
ほうに ○を つけましよう。ア キのうきつつきはきを
つつきました。イ キのう、きつつきは、
きをつつきました。

③ ニとおりの いみになる ように、

てん() や まる()を つけましよう。

①

ア はなからはちがでた
イ はなからはちがでた

②

ア あしたはいしやにいく
イ あしたはいしやにいく

④

つぎの 文を くらべて みましよう。
よみやすいのは どれでしょう。

② つぎの 文を くらべて

みましよう。いみは おなじ
でしょうか。

ア これは、 きもんです。

イ これ、 はきものです。

1 きつつきはこつこつときを
つつきました。2 きつつきはコツコツと木を
つつきました。3 きつつきは、 コツコツと、
木をつつきました。よみやすいのは、 ☐ ばんです。
なぜなら、

につきを かこう

① その 日に あった、たのしかった ことや がんばった こと、こころが うごいた ことなどを、おもい出して かきましよう。

した こと	
その ときの くわしい ようす	
おもった こと	

② ①をもとに、につきに かきましよう。

月 日 ()						

みんなに つたえよう

なまえ

ふゆ休みに したよ①

① ふゆ休みに した ことと、はなす じゅんばんを かんがえましょう。

〈ふゆ休みに した こと〉

どんな ことを したか

その ときの
気もちなど

じゅんばん

② つぎに がんばりたい ことや きょうの がくしゅうの ふりかえりを

しましょう。

ふゆ休みに したよ②

① きく 人に つたわるには、どんな はなしかたを すれば よいでしょうか。かんがえた ことを かきましよう。

② ともだちの はなしを じょうずに きく ためには どんな ことに 気を つければ よいでしょうか。かんがえた ことを かきましよう。

③ じょうずに はっぴょうできたり、ともだちの はっぴょうを きけたり しましたか。ふりかえりを かきましよう。

めだかの ぼうけん ①

□ いつの ことか わかる ことばから、「田んぼの ようす」と「めだかの ようす」を たしかめ、カードに まとめましょう。

① 【ア はる】の カードを つくりましょう。

いつの ことか わかる ことば

ア

田んぼの ようす

めだかの ようす



② 【イ 田んぼの 水が あたたまると】の カードを つくりましょう。

いつの ことか わかる ことば

イ

田んぼの ようす

めだかの ようす



めだかの ぼうけん②

□ いつもの ことか わかる ことばから、「田んぼの ようす」と「めだかの ようす」を たしかめ、カードに まとめましょう。

① 【ウ 田うえが はじまる ころ】の カードを つくりましょう。

いつもの ことか わかる ことば

ウ

田んぼの ようす

めだかの ようす



② 【エ なつの さかり】の カードを つくりましょう。

いつもの ことか わかる ことば

エ

田んぼの ようす

めだかの ようす



めだかの ぼうけん ③

□ 一つの ことか わかる ことばから、「田んぼの ようす」と「めだかの ようす」を たしかめ、カードに まとめましょう。

① 【オ なつの おわり】の カードを つくりましょう。

一つの ことか わかる ことば

オ

田んぼの ようす

めだかの ようす



② 【あき】の カードも つくりましょう。

一つの ことか わかる ことば

田んぼの ようす

めだかの ようす



めだかの ぼうけん ④

① めだかの ぼうけんは、どのような ぼうけんでしたか。また、どんなところが すごいと おもいましたか。

② めだかの ぼうけんは、どのような ぼうけんか、ともだちの かんがえを きいて、かきましよう。

③ ともだちと はなしあって、いちばん よいとおもった かんがえをかきましよう。

「そうぞうを ひろげよう

なまえ

「音」を さがして おはなし
づくり①

Ⅰ 「音を あらわす ことば」を さがして かきましよう。

耳に きこえて くる「音」 （「パンパン」など）	
耳には きこえないけ れど こころで きく ことが できる 「音の ような ことば」 （「ぺろぺろ」など）	

Ⅱ 見つけた「音を あらわす ことば」を つかって 文を つくりましよう。

見つけた「音を あらわす ことば」	文

「音」をさがしておはなし
づくり②

① つくった文に、つぎのことをつけくわえましょう。

- ・「うは」「うが」など、「だれが」をあらわすことは
- ・「すると」「そして」などの つなぎことば

そのほかの
つなぎことば

2 みじかい
おはなしを
つくりましよう。

[illegible]

まとめて よぶ ことば

① 「木 になる たべもの」を まとめて () と よびます。

() に ことばを かき入れましょう。



(

)



(

(

(

(



② つぎの () には なにが 入り

ますか。ひょうに ことばを か
き入れましょう。

				くだもの	
				りんご	みかん
				にんじん	ピーマン
				せんべい	キャラメル

③ まとめて、「どうぶつ」や「じどう

車」と よばれる ものには、ど
んな ものが ありますか。

どうぶつ					犬
じどう車					シヨベルカー

ありがとうを とどけよう

- ☐ ありがとうを つたえる カードの 下がきを しましょう。カードは、たてがきと よこがきの どちらかを えらびましょう。

〈たてがき〉

ありがとうございます。



一ねん

くみ

〈よこがき〉

ありがとうございます。

1ねん くみ

字 ひつじゅんと にて いる かん

① 「土」と「上」の かきはじめを
なぞりましょう。また、（ ）に
ことばを かき入れましょう。

土

上

かん字の かきかたの じゅん
じよを（ ）、または（ ）
と いいます。

② つぎの かん字は、 どこが ち
がいますか。 どこが にて いま
すか。

右 みぎ左 ひだり石 いし

・ ちがう ところ
・ にて いる ところ
・ ひつじゅんに 気を つけて かき
ましょう。

右 1 2左 1 2石 1 2

③ にて いる かん字に 気を
つけて かきましょう。

① 目で 貝を 見つめる。

目

貝

見

② 村の 学校で 字を 学ぶ。

学

字

学

③ あさ 早くの 草げん。

早

草

④ 森と 林と 竹やぶ。

森

林

④ □には どの かん字が 入りま
すか。 ちがいに 気を つけて か
き入れましょう。

① かごの

なか

の

むし

の

あし

中

足

虫

②

てん

に

おお

いぬ

ざが、

出て いる。

犬

天

大

③

こ

かげで

ほん

に

みず

が

かかった。

水

本

木



おてつだいを したよ①

① いえで して いる おてつだいに ついて おもい出して かきましよう。

して いる おてつだい	その ときの ようす	その ときの 気もち

② ①で かいた おてつだいの 中から、一つ えらび、それについて した ことの じゅんじょや おもった ことを かき出しましょう。

した ことの じゅんじょ	おもった こと
① はじめに、	
② つぎに、	
③ それから、	
④ さごころに、	

おてつだいを したよ②

□ かき出した ことを もとに して、じゅんじょが わかる ように 文
しょうを かきましよう。

じぶんの 名まえ…（

）…だい名

（

ろくべえ まつてろよ①

□ おはなしの じゅんばんに、（ ）の 中に ばんごうを かきましょ
う。また、それぞれの した ことは、だれが した ことですか。

□ の 中に かきましょ。

（ ） うたを うたう。

（ ） おかあさんを よぶ。

（ ） かい中でんとうを もって くる。

（ ） クッキーを つれて くる。

（ ） シャボン玉を ふく。

（ ） ひまそうな 人に たのむ。

ばめのんの ようすを おもいうかべて よもつ

なまえ

ろくべえ まつてろよ②

□

つぎの ①から ③の とき、 かんちゃんたちは、 どんな ことを おもったでしょうか。

① ろくべえが、 まるく なって しまった とき。

② ひまそうな 人が いって しまった とき。

③ クッキーが かごから とび出して しまった とき。

ろくべえ まつてろよ③

① グループの メンバーを かきましよう。

② 音どくげきに するか 人ぎようげきに するか、きめましよう。

- ・音どくげき
- ・人ぎようげき



--

③ やくわりを きめましよう。

① かたり手

だい一ばめん …

だい四ばめん …

だい二ばめん …

だい五ばめん …

だい三ばめん …

② おはなしことば … 「」の ところ (じぶんの やくを かきましよう)

--

④ グループで、くふうする ところを そうだんして、かきましよう。

⑤ 人ぎようげきグループの 人たちは、ペープサートをもつ 人を きめましよう。

7

ばめんの ようすを おもいうかべて よもつ

なまえ

ろくべえ まつてろよ④

Ⅰ グループの おすすめポイントを はなしあつて かきましよう。

グループの おすすめポイント

② おすすめポイントが かわった ときや ふえた ときは、 かいて おき

ましよう。

ろくべえ まつてろよ⑤

- ① じぶんたちの グループの はっぴようで、かえた ほうが よい ところはないか はなしあいましょう。

- ② 「グループの おすすめポイント」を しょうかいする ことばを かんがえましょう。

7

ばめのん の ようすを おもいうかべて よもつ

なまえ

ろくべえ まつてろよ⑥

① はっぴようかいを ふりかえりましょう。

◎…よく できた ○…できた △…もう すこし

・しせんに 気をつけて はっぴようできた。

・ひようじょうに 気をつけて はっぴようできた。

・ま(はやさ)に 気をつけて はっぴようできた。

・こえの 大きさに 気をつけて はっぴようできた。

・気もちを こめて セリふを いう ことが できた。

② ともだちの よかった ところを 見つけましょう。

③ 「ろくべえ まつてろよ」の 学しゅうで、こころに のこっている

ことを かきましよう。

かたかなの れんしゅう②

○ かたかなの れんしゅうを しましう。

ン ロ リ ュ

ワ ル ヨ

ヲ レ ラ

この本で 学しゅうした
かん字①

○ あたらしい かんじを よみましょう。

くらしを まもる 車

① 水|よう日に、じてん車|の れんしゅうを しました。

② 車|から おりて、水|を のみに いきました。

③ 手|を 上げて はっぴょうします。

④ きれいな 月が 出|て います。

⑤ はがきを 出|しに いきました。

のりものしらべを しよう

⑥ あおい 空|が ひろがって います。

⑦ こたえの 文|を みつけましょう。

この本で 学しゅうした
かん字①

○ あたらしい かんじを かきましよう。

くらしを まもる 車

① すい よう日に、じてん しゃ の れんしゅうを しました。

② くるま から おりて、 みず を のみに いきました。

③ て を 上げて はっぴょうします。

④ きれいな 月が で て います。

⑤ はがきを だ しに いきました。

のりものしらべを しよう

⑥ あおい そら が ひろがって います。

⑦ こたえの ぶん を みつけましよう。

この 本で 学しゅうした
かん字 ②

○ あたらしい かんじを よみましょう。

文の かたち

① 犬と あそんで いる 子どもが 見えます。

② わたしの クラスの じよ子は、十六人です。

③ 花だんに しろい 花が さきました。

かたかな

④ きょうは、音がくの じゅぎょうが あります。

⑤ テレビの 音が きこえて きます。

この 本で 学しゅうした
かん字 ②

○ あたらしい かんじを かきましよう。

文の かたち

① いぬ と あそんで いる こ どもが み えます。

② わたしの クラスの じよ し は、十六人です。

③ か だんに しろい はな が さきました。

かたかな

④ きょうは、 おん がくの じゅぎょうが あります。

⑤ テレビの おと が きこえて きます。

この 本で 学しゅうした
かん字 ③

○ あたらしい かんじを よみましょう。

クイズ大会を たいかい しよう

① 先月、となりの いえに 男の子が 生まれました。

② この クラスの 男子は、なん人ですか。

はじめは「や!」

③ きょうは、青空が ひろがる いい 天気です。

④ 町の がっこうで、入がくしきがあります。

⑤ つかれたので、へやに 入って 休みました。

⑥ 本を ニさつ、はこに 入れました。

この 本で 学しゅうした
かん字 ③

○ あたらしい かんじを かきましよう。

クイズ大会を たいかい しよう

① せん 月、となりの いえに おとこ の子が 生まれました。

② この クラスの だん 子は、なん人ですか。

はじめは「や！」

③ きょうは、 あお 空が ひろがる いい てん き です。

④ まち の がっこうで、 にゅう がくしきが あります。

⑤ つかれたので、へやに はい って やす みました。

⑥ ほん を ニさつ、はこに い れました。

この 本で 学しゅうした
かん字④

○ あたらしい かんじを よみましょう。

日づけと よう日

① 火|よう日は、たくさん 雨|が ふりました。

② 金|よう日に、スコップで 土|を ほりました。

③ 土|よう日に、みんなで 花火|を しました。

④ ぎんこうへ お金|を あずけに いきました。

どくしよびじゅつかんを つくろう

⑤ おじいさんは、つりの 名|人です。

⑥ ノートに 名|まえを かきました。

この 本で 学しゅうした

かん字 ④

○ あたらしい かんじを かきましよう。

日づけと よう日

① か
よう日は、たくさん
 あめ
が ふりました。

② きん
よう日に、スコップで
 つち
を ほりました。

③ ど
よう日に、みんなで 花
 び
を しました。

④ ぎんこうへ お
 かね
を あずけに いきました。

どくしよびじゅつかんを つくろう

⑤ おじいさんは、つりの
 めい
人です。

⑥ ノートに
 な
まえを かきました。

かん字の まとめ (P 60 ~ 75)

なまえ

この 本で 学しゅうした
かん字 ⑤

○ あたらしい かんじを よみましょう。

ふゆ休みに したよ

① お正月に はつもうでに いきました。

② 正しい しせいで 本を よみましょう。

めだかの ぼうけん

③ 赤い くちばしを した 白い とりが いました。

④ かぞく みんなで 田うえを しました。

「音」を さがして おはなしづくり

⑤ 耳を すまして、 とりの こえを ききましょう。

この 本で 学しゅうした
かん字 ⑤

○ あたらしい かんじを かきましよう。

ふゆ休みに したよ

①

お

しょう

月にはつもうでに いきました。

②

ただ

しい しせいで 本を よみましよう。

めだかの ぼうけん

③

あか

い くちばしを した

しろ

い とりが いました。

④

かぞく みんなで

た

うえを しました。

「音」を さがして おはなしづくり

⑤

みみ

を すまして、とりの こえを ききましよう。

この 本で 学しゅうした
かん字 ⑥

○ あたらしい かん字を よみましょう。

ありがとうを とどけよう

① 学校で たくさんの ことを 学びます。

ひつじゅんと にて いる かん字

② みちの 右がわに ざつ草が はえて います。

③ 左足で 小さな 石を けりました。

④ 村では、あさ 早くから はたけしごとを します。

⑤ 竹やぶで めずらしい 虫を 見つけました。

⑥ 林を ぬけると、とおくに 森が見えました。

⑦ ひろった 貝がらで はまべに 字をかきました。

この本で 学しゅうした
かん字 ⑥

○ あたらしい かん字を かきましよう。

ありがとうを とどけよう

① がつ こう
で たくさんの ことを
 まな
びます。

ひつじゅんと にて いる かん字

② みちの みぎ
がわに ぎっ そう
が はえて います。

③ ひだり あし
で 小さな いし
を けりました。

④ むら
では、あさ はや
くから はたけしごとを します。

⑤ たけ
やぶで めずらしい むし
を 見つけました。

⑥ はやし
を ぬけると、とくに もり
が 見えました。

⑦ ひろった かい
がらで はまべに じ
を かきました。

この 本で 学しゅうした
かん字 ⑦

○ あたらしい かん字を よみましょう。

おてつだいを したよ

① 水力はつてんは、水の カで でん気をおこします。

ろくべえ まってろよ

② 水玉もようの ふくを きた 一年生に あいました。

かん字の ひろば

③ 女の子は、千円さつを 一まい 出しました。

④ この クラスの 女子は、なん人ですか。

⑤ その くにの 王さまは、百さいになりました。

⑥ 夕日を うけて、くもの 糸が ひかっています。

この 本で 学しゅうした
かん字 ⑦

○ あたらしい かん字を かきましよう。

おてつだいを したよ

① 水

りよく

はつてんは、水の

ちから

で でん気をおこします。

ろくべえ まつてろよ

② 水

たま

もようの ふくを きた 一

ねん

生に あいました。

かん字の ひろば

③

おんな

の子は、

せん

えん

さつを 一まい 出しました。

④

この クラスの

じょ

子は、なんですか。

⑤

その くにの

おう

さまは、

ひやく

さいに なりました。

⑥

ゆう

日を うけて、くもの

いと

が ひかって います。

一年生で 学しゆうした

かん字①

○ かん字の れんしゅうを しましう。

手	耳	四	三	口	犬	金	九	貝	下	卅	一
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

十七系山校見空休学火王右

出車字子左五月玉氣花音雨

かん字の れんしゅう

一年生で 学しゅうした

かん字②

○ かん字の れんしゅうを しましよう。

八	入	土	町	竹	村	早	千	夕	正	森	女
百	年	二	天	中	大	草	川	石	生	人	小
文	白	日	田	虫	男	足	先	赤	青	水	上

かん字の れんしゅう

なまえ

一年生で 学しゅうした
かん字③

○ かん字の れんしゅうを しましよう。

木 目 林

本 立 六

名 力